英文學評論

第 XL 集

目　　次

Beowulf における酒宴のたのしみ…… 佐々部　英　男

キーツの死の諸相…… 藪　下　卓　郎

『マソヌイの子マース』対訳…… 蜂　谷　昭　雄

シェイクスピア劇とローマ史の人物像
——プルタルコスを中心に——
『ジュリアス・シーザー』論（その三）…… 木　村　輝　平

ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵
フェノロサ資料Ⅰ　序…… 村　形　明　子

Theories Behind Language Acquisition Theories…… David Sell

京都大学教養部英語教室

目次

Beowulf における酒宴のたのしみ……佐々部英男…（一）

キーツの死の諸相……薮下卓郎…（一九）

☆　☆　☆

『マソヌイの子マース』対訳……蜂谷昭雄…（1）

シェイクスピア劇とローマ史の人物像―プルタルコスを中心に―Ⅲ
『ジュリアス・シーザー』論（その三）……木村輝平…（63）

ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵フェノロサ資料Ⅰ　序……村形明子…（78）

Theories Behind Language Acquisition Theories……David Sell…（111）

編集後記

われわれの『英文学評論』も近年は順調に歩んで、今回で第四十号に達する。五十号記念特大号を出すことが出来るのも遠い未来ではなかろう。しかし最初の「評論」的なまとまりからはかなりはみ出したかもしれないが、そういう一種まとまりのなさも健全なことであろう。今回は量的に横組みが圧倒的に多く、どちらが表か裏か分らなくなりそうであるのは、縦組みに統一されていた時代とは今昔の感がある。

昨年、大浦幸男教授が退官されたことは前号でも触れられているが、代って京都国立博物館から村形明子助教授をお迎えした。初めての公募人事でもあったが、広い視野から人選出来たことは幸いであった。今号でも早速執筆していただけたが、若い同僚がつぎつぎ力篇を寄せて下さるのは心強いことである。

（編集委員）

英文学評論

非売品

昭和五十四年一月三十一日　発行

編集者　京都大学教養部英語教室
代表者　青木啓治

印刷所　明文舎印刷株式会社
京都市南区吉祥院池ノ内町一〇

発行所　京都大学教養部英語教室
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XL January 1979

CONTENTS

Medudream in *Beowulf* ..... Hideo SASABE

Aspects of Death in John Keats ..... Takuro YABUSHITA

"Math uab Mathonwy"——A Parallel Translation ..... Akio HACHIYA

Roman Historic Figures and Shakespeare:
A Historical Approach to Shakespeare's Roman Plays with
Special Reference to Plutarch—Part I On *Julius Caesar* (iii)
..... Teruhira KIMURA

The Ernest F. Fenollosa Manuscripts at the Houghton Library,
Harvard University(I)
A Catalogue with an Introduction ..... Akiko MURAKATA

Theories Behind Language Acquisition Theories ..... David SELL

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY